構想区域の設定について

資料７－３

１　構想区域の考え方について（策定ガイドライン概要）

○　構想区域は主に①医療提供体制構築のため、②必要病床数の運用のため、の２つの役割がある。

○　構想区域は一定の急性期医療需要に対応する体制を合理的に確保できる単位として設定する必要があるが、小児、周産期、がん医療など、分野によってはより広域的な対応を行うものもある。

　また、地域医療構想の構想区域と医療計画の二次医療圏は原則一致させて運用することとされている。

○　第８次医療計画の二次医療圏については、「人口 20 万人未満、流入患者割合が 20%未満、流出患者割合が 20%以上」のすべてに当てはまる場合、見直しを検討する考え方が示されており、構想区域についてもこうした観点を踏まえて適切に設定する。

○　構想区域設定に当たっては、現在及び将来の医療需要や人材確保の観点で、区域として一定の医療提供の完結が可能か、協議する単位として適切か等を検討し、区域の維持、統合、再編等の対応についても今回検討する。

○　隣接する他府県間の流出入が多い場合、府県境をまたぐ構想区域間で一体的に医療提供体制を確保する考え方も示されている。

２　現在の構想区域の状況

（１）現在の構想区域について

・現在の６構想区域（丹後、中丹、南丹、京都・乙訓、山城北、山城南）は、二次医療圏と一致している。

・二次医療圏（構想区域）の範囲については、旧京北町の京都市への編入合併を除き、京都府保健医療計画（昭和 59 年～）策定以来、現在と同じである。

（２）人口

2040 年において人口 20 万人以下となることが見込まれているのは、丹後、中丹、南丹、山城南である。

	推計人口	
	2025 年	2040 年
丹後	9 万人	**6 万人**
中丹	18 万人	**15 万人**
南丹	13 万人	**10 万人**
京都・乙訓	153 万人	147 万人
山城北	42 万人	36 万人
山城南	12 万人	**12 万人**

出典：国立社会保障・人口問題研究所

（３）患者の受療動向

入院患者の流出入について、流入患者割合 20%未満かつ流出患者割合 20%以上にあてはまるのは丹後と南丹であるが、過去と比較すると流出患者割合は減少している。

ア　流入患者割合（Ｒ６）

機能区分	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
医療需要計	8.5%	15.6%	13.6%	15.0%	26.3%	32.8%
高度急性期・急性期　計	6.9%	17.1%	7.2%	17.6%	26.2%	23.1%
高度急性期	5.8%	19.1%	6.3%	21.3%	27.6%	20.3%
急性期	7.1%	16.4%	7.4%	16.0%	25.6%	23.8%
包括期	7.8%	13.1%	4.6%	12.1%	23.2%	33.6%
慢性期	13.4%	17.6%	23.3%	14.1%	29.1%	46.2%

出典：地域医療構想策定支援ツール（NDB から算出）

イ　流出患者割合（Ｒ６）

機能区分	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
医療需要計	21.2%	14.4%	33.0%	7.7%	28.8%	53.1%
高度急性期・急性期　計	20.6%	12.9%	43.4%	6.9%	33.5%	61.1%
高度急性期	31.7%	18.7%	57.3%	7.0%	37.8%	71.2%
急性期	17.4%	10.8%	38.6%	6.9%	31.8%	57.1%
包括期	15.4%	6.0%	32.8%	5.9%	26.0%	39.1%
慢性期	32.2%	27.8%	21.8%	11.6%	25.3%	63.7%

出典：地域医療構想策定支援ツール（NDB から算出）

（参考）過去の流出患者割合

調査年	丹後	南丹
Ｈ２	51.9%	47.3%
Ｈ８	46.0%	42.7%
Ｈ１４	23.6%	28.6%
～		
Ｒ２	18.2%	26.8%

出典：京都府保健医療計画（患者調査）

※　上記推計ツールの値とは、調査方法が異なることに留意が必要

（４）地理的事情・交通事情

鉄道については、ＪＲ奈良線や山陰線（嵯峨野線）の複線化などが進められているが、公共交通機関の縮小等が進んでいる地域も存在する。

道路については、近年高速道路を中心にアクセスが大きく向上している。

○　府北部

・京都縦貫自動車道

～1996 年　丹波ＩＣ～沓掛ＩＣ　開通

～2008 年　宮津天橋立ＩＣ～京丹波わちＩＣ　開通

～2013 年　沓掛ＩＣ～大山崎ＪＣＴ　開通

2015 年　京丹波わちＩＣ～丹波ＩＣ　開通

○　府南部

・第二京阪道路

～2003 年　巨椋池ＩＣ～京田辺松井ＩＣ　開通

～2008 年　上鳥羽ＩＣ～巨椋池ＩＣ　開通

・京奈和自動車道
～1993 年　城陽ＩＣ～山田川ＩＣ　開通
　2000 年　山田川ＩＣ～木津ＩＣ　開通

・新名神高速道路
～2017 年　城陽ＩＣ～八幡京田辺ＩＣ　開通

（５）他計画等の区域設定

従来から府北部地域については各種計画等の区域が一致しているが、南部地域については計画の目的・内容により異なる区域設定が行われている。

<table>
<tr><th rowspan="2">市町村</th><th rowspan="2">管轄保健所</th><th rowspan="2">二次医療圏
・
構想区域</th><th colspan="3">他計画等（例）</th></tr>
<tr><th>京都府
総合計画</th><th>国土利用計画
・土地利用
基本計画</th><th>京都府生活
交通対策
地域協議会</th></tr>
<tr><td>宮津市、京丹後市、
伊根町、与謝野町</td><td>丹後</td><td>丹後</td><td>丹後</td><td>丹後</td><td>丹後</td></tr>
<tr><td>福知山市</td><td>中丹西</td><td rowspan="2">中丹</td><td rowspan="2">中丹</td><td rowspan="2">中丹</td><td rowspan="2">中丹</td></tr>
<tr><td>舞鶴市、綾部市</td><td>中丹東</td></tr>
<tr><td>亀岡市、南丹市、
京丹波町</td><td>南丹</td><td>南丹</td><td>南丹</td><td>南丹</td><td>京都中部</td></tr>
<tr><td>京都市</td><td>京都市</td><td rowspan="2">京都・乙訓</td><td>（京都市）</td><td>京都市</td><td rowspan="3">京都・南部</td></tr>
<tr><td>向日市、長岡京市、
大山崎町</td><td>乙訓</td><td rowspan="3">山城</td><td rowspan="3">山城</td></tr>
<tr><td>宇治市、城陽市、
八幡市、京田辺市、
久御山町、井手町、
宇治田原町</td><td>山城北
(綴喜分室)</td><td>山城北</td></tr>
<tr><td>木津川市、笠置町、
和束町、精華町、
南山城村</td><td>山城南</td><td>山城南</td><td>相楽</td></tr>
</table>

論点

- 人口 20 万人以下の構想区域について、2040 年の医療提供体制確保の観点で見直しが必要かどうか。
- 地理的条件や受療動向の変化から構想区域の再編が必要な地域があるか。
- 府内の構想区域間の連携をどう考えるか。
- 他府県に流出が多くみられる構想区域について、他府県との連携をどう考えるか。